

## 大学コンソーシアムとちぎ連携講座開設授業シラバス

授業科目名	医療人類学入門ゼミ：コロナ禍と出会い直す	大学名	獨協医科大学																
科目区分	VU連携講座	開講時期	前期																
学部・学科等	医学部・医学科	曜日	教務課までお問い合わせ下さい。																
必修・選択区分	選択	時限（時間）	教務課までお問い合わせ下さい。																
標準対象年次	第1、2、3、4、5、6学年	授業形態	講義																
単位数	0.5単位	授業会場	教務課までお問い合わせ下さい。																
担当教員名	松岡 佐知																		
電話番号（代表者名）	0282-87-2419（教務課）	e-mail アドレス	kyoumu@dokkyomed.ac.jp																
オフィスアワー	特に設けず、e-mailや電話での予約により、質問や相談に応じる。																		
授業の概要	<p>&lt;授業の目標及びねらい&gt;</p> <p>医療人類学者である磯野真穂さんが著した『コロナ禍と出会い直す：不要不急の人類学ノート』（柏書房）を輪読し、議論を深めることで、医学的アプローチとは異なる医療についての考え方・ものの見方を体得することを目指します。同時に医学的な考え方を相対化し、医学的アプローチにはどのような特徴があるのか客観的な理解を深めます。</p> <p>コロナ禍は医療だけでなく、政治、経済、学校生活、家族関係など、私たちの暮らしの足元にまで影響を及ぼしました。どのように行動するのが最適であるか、その判断に悩んだこともあると思います。その意味で、私たちすべての人がその災禍の当事者であり、医療について多義的に考える格好の材料となります。今後、同様の災禍が発生する可能性はあり、この経験を学びに変えることは非常に重要です。</p> <p>&lt;前提とする知識・経験&gt;</p> <p>特に必要としません。</p> <p>&lt;授業の具体的な進め方&gt;</p> <p>講義についてはゼミ形式として、各章ごとに担当者を決め、文献の要点や自分の意見、疑問点について発表してもらいます。その後、出席者全員で意見交換をし、議論を深めます。講義の時間中に文献を読む時間をとりますが、時間が限定的であるため、事前に文献を読む時間（30分～1時間程度）が必要です。</p> <p>&lt;授業計画&gt;</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">回数</th> <th style="width: 90%;">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1回目</td> <td>イントロダクション、医療人類学の基礎</td> </tr> <tr> <td>2回目</td> <td>輪読ゼミ：新型コロナの「正しい理解」とは</td> </tr> <tr> <td>3回目</td> <td>輪読ゼミ：医療人類学にとっての病気とは</td> </tr> <tr> <td>4回目</td> <td>輪読ゼミ：「リスク」感覚とは</td> </tr> <tr> <td>5回目</td> <td>輪読ゼミ：新型コロナと気の緩み</td> </tr> <tr> <td>6回目</td> <td>輪読ゼミ：日本社会の感じ方の癖</td> </tr> <tr> <td>7回目</td> <td>輪読ゼミ：いのちを大切にすることは</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;教科書・参考書・教材と入手方法&gt;</p> <p>磯野真穂『コロナ禍と出会い直す：不要不急の人類学ノート』柏書房（税込1980円）を購入する必要があります。一般的な書店で入手可能です。その他、人類学に関する資料は必要に応じて配布します。</p> <p>&lt;成績評価法&gt;</p> <p>ゼミにおける発表内容、および議論への参加態度によって総合的に評価をします。</p> <p>&lt;教員からのメッセージ&gt;</p> <p>人類学は、無意識に刷り込まれている「当たり前」に気づくことを助けてくれます。現代社会に居心地の悪さや生きづらさを感じている人にこそ、学んで欲しいと思っています。</p>			回数	内容	1回目	イントロダクション、医療人類学の基礎	2回目	輪読ゼミ：新型コロナの「正しい理解」とは	3回目	輪読ゼミ：医療人類学にとっての病気とは	4回目	輪読ゼミ：「リスク」感覚とは	5回目	輪読ゼミ：新型コロナと気の緩み	6回目	輪読ゼミ：日本社会の感じ方の癖	7回目	輪読ゼミ：いのちを大切にすることは
回数	内容																		
1回目	イントロダクション、医療人類学の基礎																		
2回目	輪読ゼミ：新型コロナの「正しい理解」とは																		
3回目	輪読ゼミ：医療人類学にとっての病気とは																		
4回目	輪読ゼミ：「リスク」感覚とは																		
5回目	輪読ゼミ：新型コロナと気の緩み																		
6回目	輪読ゼミ：日本社会の感じ方の癖																		
7回目	輪読ゼミ：いのちを大切にすることは																		